

交姦

～エルフの王女になったオークの物語～



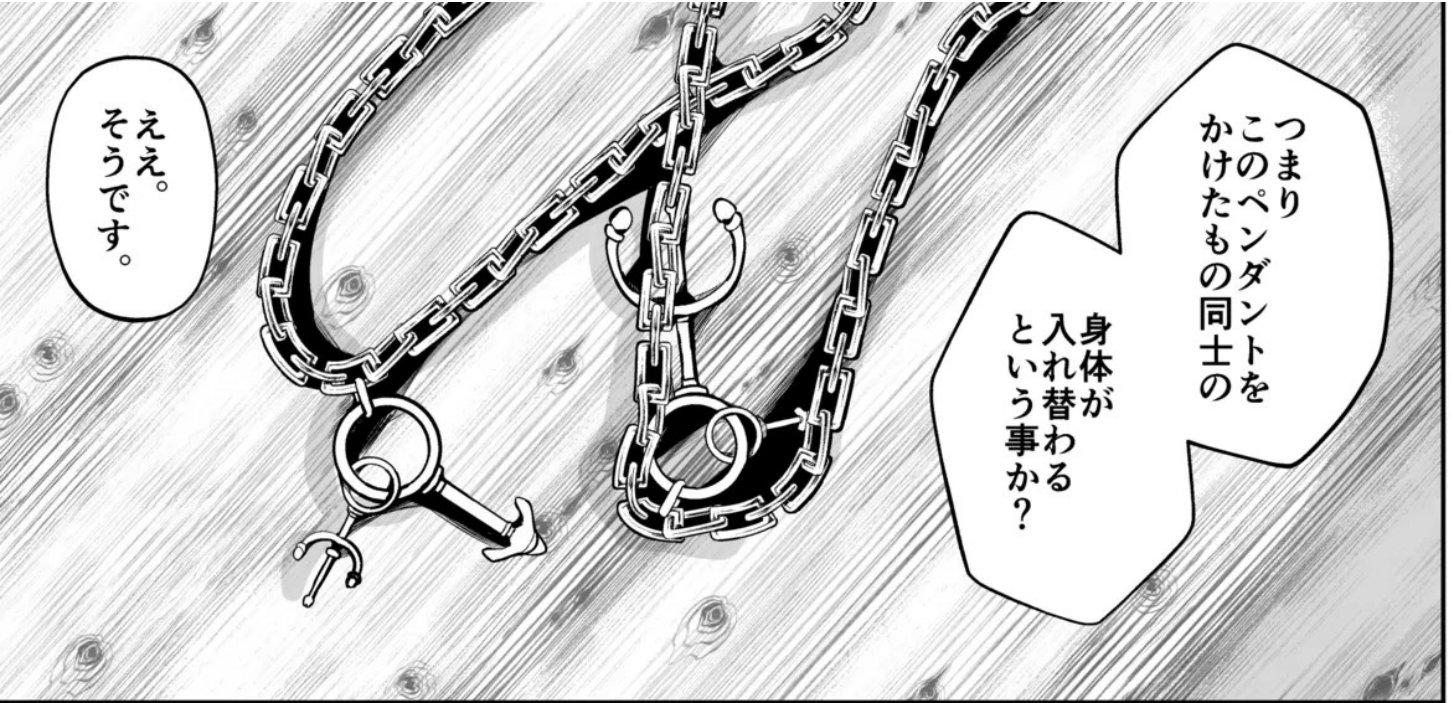
DOJIN
R18
成人向け

♂ ♀
⇄
入れ替わり

18歳未満の
購入・閲覧禁止

交姦

～エルフの王女になったオークの物語～



ええ。
そうです。

つまり
このペンダントを
かけたもの同士の
身体が
入れ替わる
という事か？



これは
古代の魔術が
込められており
唯一魔術が
使える
エルフ族ですら

解除不可能な
代物です。

なるほど…。



ううむ…。

確かに
面白い品
ではあるが…。









知っていましたか？

女性の快感は
男性のそれの

10倍以上と
言われるんです。

そしてその中でも
エルフは更に
感度が高いんだとか。



考えても
みてください。

女って、
セックスしてる時
明らかに男よりも
気持ちよさそう
でしょう？

あんなにも喘いで
痙攣するほど感じて…

女の快感、
知りたくないですか？

気になるけど
でも…



それ
本当だべ？

ええ。

私の
言うとおりに
すれば

大丈夫です。

何度も言ってる
でしょう。

交易は
行いません。

私たちの魔法は
門外不出。

その為に
他種族との交流は

一切を
禁じております。

…どうい
う事
ですか？

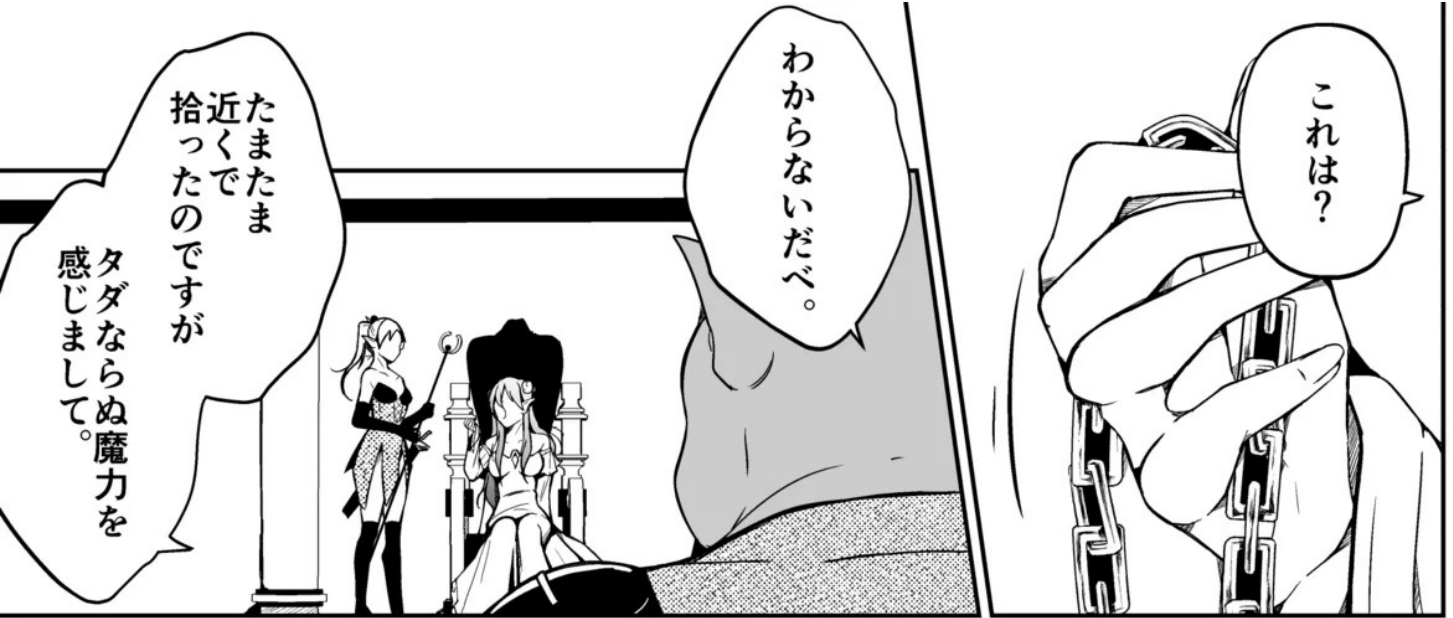
知
ってる
だべ……
です。

はい。

それ故に
今回ご挨拶に

伺ったの
ですだべ。





たまたま
近くで
拾ったのですが
タダならぬ魔力を
感じまして。

わからないだべ。

これは？



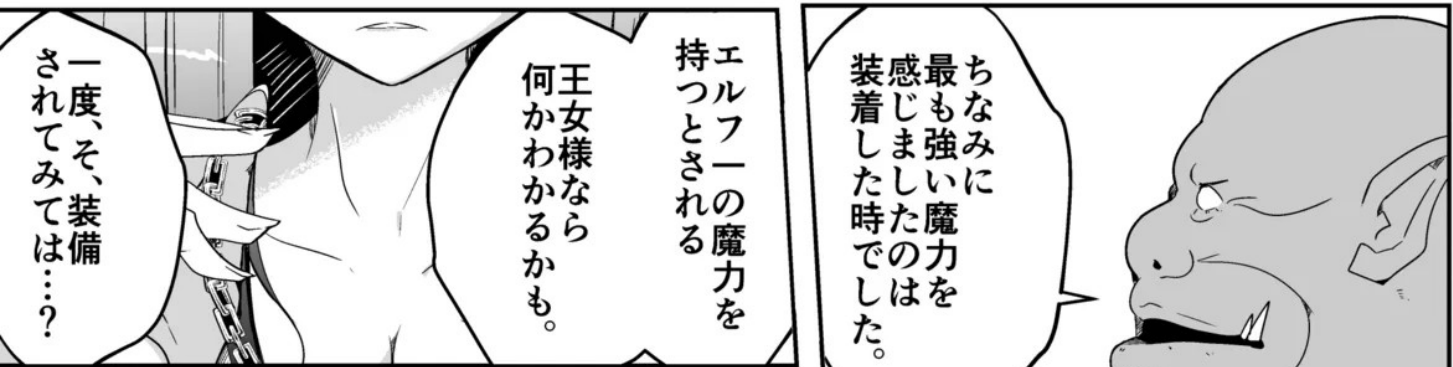
恐らく
あなた様一族の物と
思われますから
返却にお伺いしたのです。

なるほど。
そうでしたか。

確かに強い魔力を
感じますね。

これを
解析する事で
我らの魔術が
漏洩する可能性も…。

はい。



ちなみに
最も強い魔力を
感じましたのは
装着した時でした。

エルファーの魔力を
持つとされる

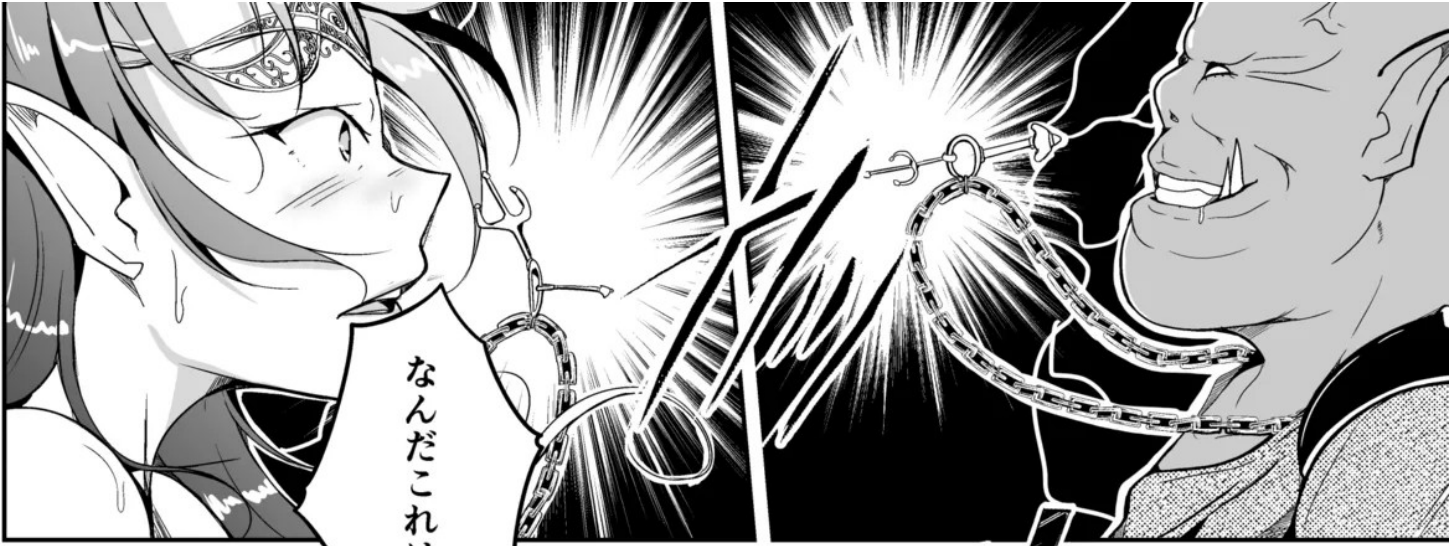
王女様なら
何かわかるかも。

一度、その装備
されてみては…？

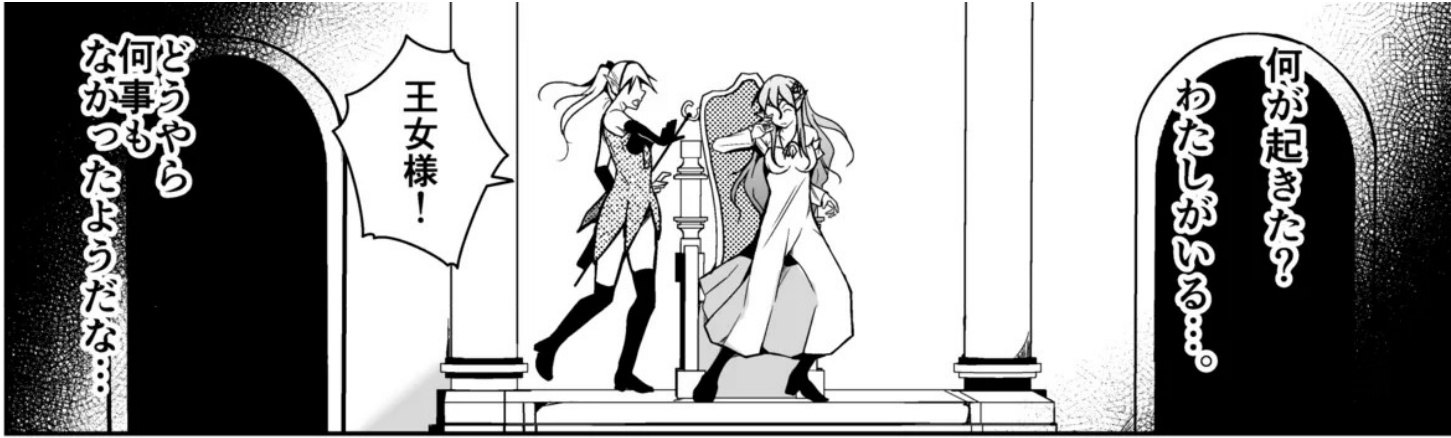


ふむ。
なるほど。

キヤッ



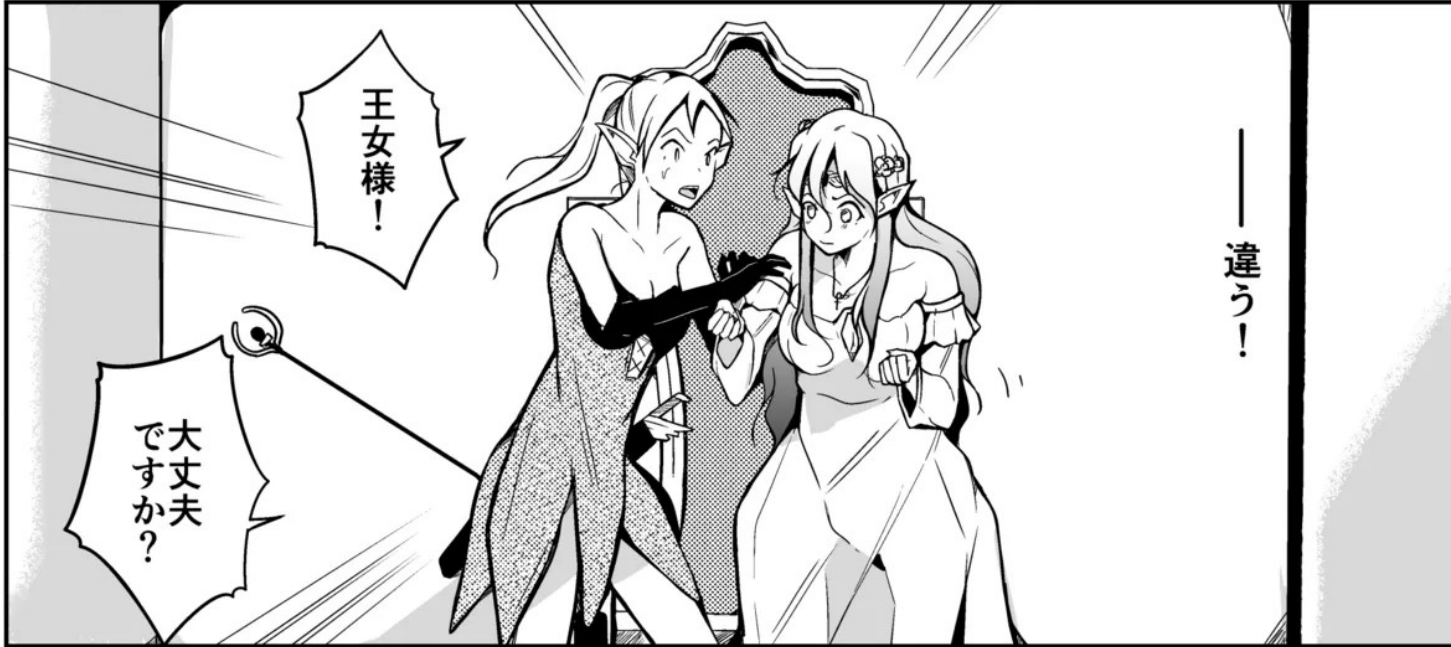




何が起きたり？
わたしがいる。。。

王女様！

どうやら
何事も
なかつたようだな。。。



——違う！

王女様！

大丈夫
ですか？



なぜ、
私がそこにいる？

なぜ、
私が私を見ている？

うひひ。
うひひ。



ま、まらか。

本当に
入れ替わったべ。

ぐへへ。

身体を
入れ替えたのか？

とわ
とわ

…王女様？

うへへ。

ここからは
練習した通りに！

…おっと。
喜ぶのはまだだべ。

大丈夫です。
私は無事です。

しかし、これは…
恐ろしい。

とてつもない
魔力を感じます。

貴様！

王女様に何を
しようとした！

皆の者！
騙されるな！

そんな嘘、
通用するとも？

そんなものが
この世に

存在するわけが
ないでしょう？

身体を
入れ替えられた！

私が王女だ！

我々ですら
作れないものを

オーク風情が
持っているとも？

このものを牢へ！

はっ！

…ぐっ！



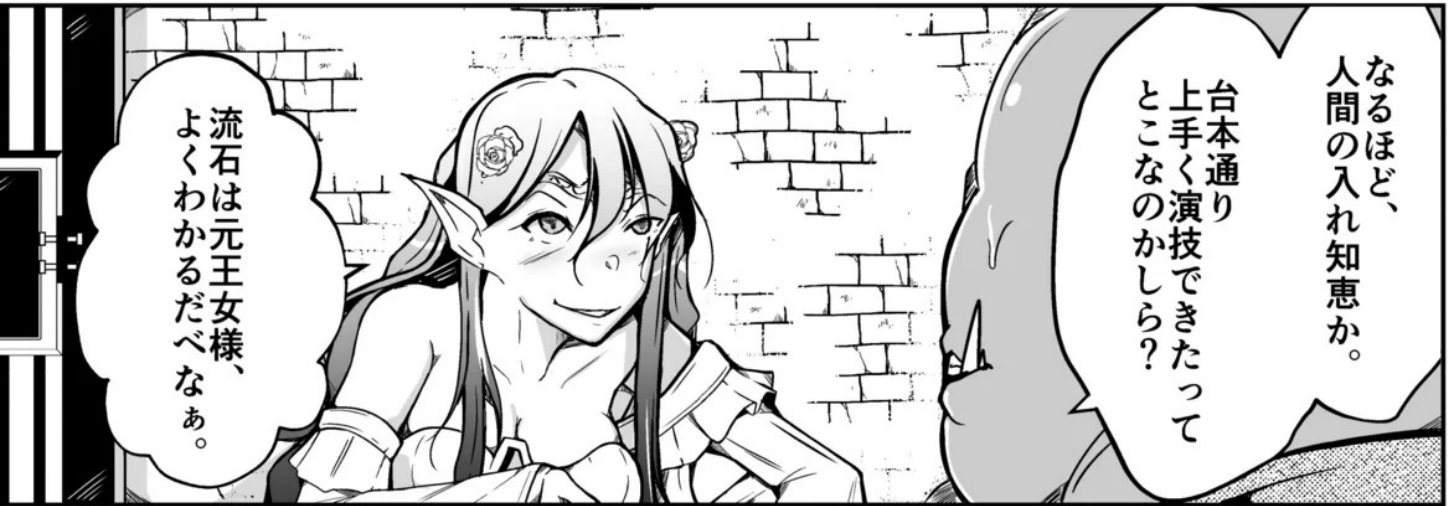
王女さん、
何とも醜い姿に
なっちまったべなあゝ。

こんなに
あっさり成功するとは
思わなかったべ。

商人さんが
エルフはオークを
見下してるから
油断していると
言ってたけど

その通り
だったべ。

ぐへへ。



なるほど、
人間の入れ知恵か。

台本通り
上手く演技できたって
とこなのかしら？

流石は元王女様、
よくわかるだべなあ。



でも、そんな
言葉づかいじゃ
ばれるのも
時間の問題ね。

今なら命だけは
とらないで
あげるから
元に戻しなさい。

イラ...

アンタ立場が
わかってないだべな。

この身体は
おでのもの
なんだべ。

おどろ

むほ〜！

良い
身体
してるべ〜。

や、
やめなさい！

だから
こんな事しても

アンタに
何も言われる
筋合いもないし

本当に
殺すわよ！

もみ
もみ

アンタの命だって
おで次第。

だから、
そうやって

強がって
いられるのも

おどろ

今のうち
なんだべ…んっ。

知ってる
だべか？

10倍。

女は男の10倍の
感じるんだべ。

商人さんが
言ってただべ。

？

うひひ

だから、おで
今から

確かめるん
だべなあゝ。

や、
やめなさい！



うひょー。

チンコが
無くて

ホントに
ツルツルだべ。

これが

女の…
おまんこ。

…でも、
良く見えないべ。



よっと。

これで
見やすくなったべ。

なんか
豆みたいな膨らみ。

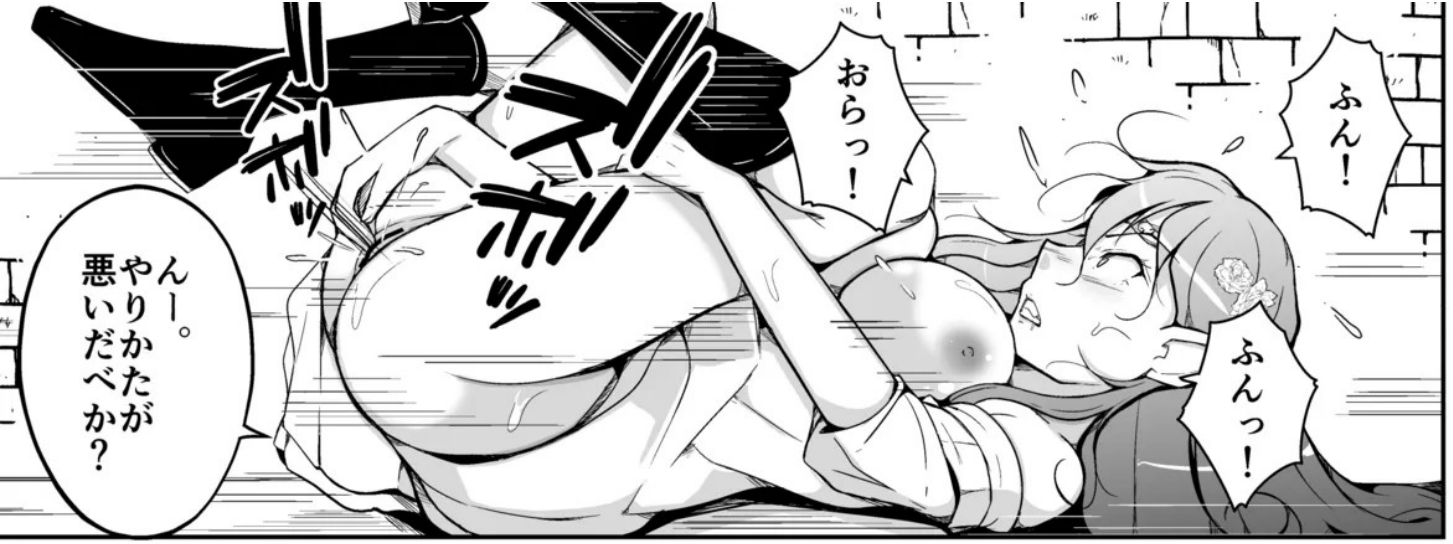
ここさわると
気持ちいいべ。

スリ

スリ

おほっ！

うほっ！



んー。
やりかたが
悪いだべか？

おらっ！

ふん！

ふんっ！



気持ちいいけど

10倍って
感じは

しないだべなあ。



あ、そうだ。

良い事
思いついただべ。

アンタ、
おでこの

舐めて
くれないだべか？

女だったんなら

どうすれば
気持ち良
いかわかるだべ？

おで、
あったま
いー！



なんたる失態!

なんたる屈辱!

そうそう。

余計な事
するんじゃないだよ。

そうか。

力任せにやったら
ダメだったんだべなあ…。

傷つけて困るのは
あんただべ…

うっ…
ん…

自分で
やってた時とは

全然違う。

こんなオークごときに
私の高潔な身体を…

流石に元自分の身体の
扱い上手だべなあ…あつ。

なんだこれは…
どうして私は…

あん

女みたいな声…
でちゃう…だべ…
…んっ♡

こんな状態で



すご...
なにか...

自分の身体に
欲情しているのだ？

あ...

あ...あ...あ...

くるだべ
ええええ!!

これが、女の絶頂？

凄いだべ…

ガク

あ…っ！

あ…あ

本番やっでないのに
これだなんて…

ガク

おまんこが
求めている？

ヒク

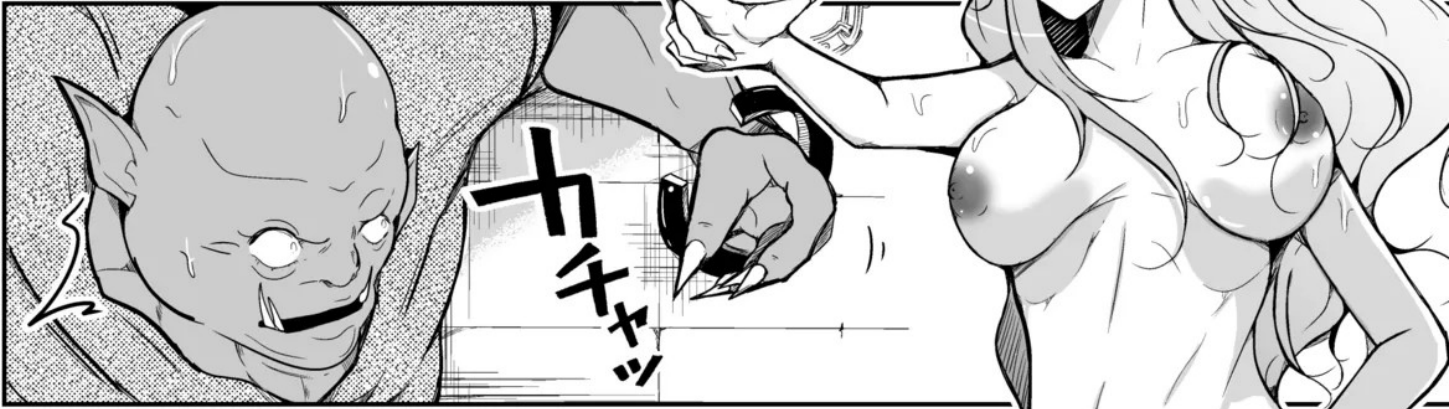
ヒク

もっと気持ちよく
なれるだべ？

あ…っ！

この記憶は…





ふふ。
気づいた？

さっき
イツタ時に
あなたの記憶が
読めるように
なったの。

仕草、口調

そして

能力も
自由に
使えるのよ。

ほほん

記憶
だけじゃない。

さあ。
私を楽しませて？

ここは
魅了魔法？
チャーム

ま...

そのたくましい
おちんちんで



あなたは支配してきたじゃない。



卑怯よ!

魔法を使うなんて。



その卑怯な魔法で、ね。



ダメ! とまらない!

良く言えたわね。



この膨張したものを

挿入したくて

ズ!



だってこんなにも

そう。

挿入れなさい。

魅力的なんだから。

私...

ズ!

高貴なエルフが
異種族の…

しかも

オークなどと
下等種と
交わるなんて

最大の汚点を

あなた自身の手で
作るのよ!

ズッ

おっほお!

おちんちん
きたあぁっ♡



私は一度も
魅了^{チャーム}魔法なんて
使っていないわよ。

使ったふりを
しただけ。

ドッ
ドッ
ドッ

そんな事!
現に今は...

あなたの性欲は
男の屈したのに

それを
魔法のせいだと
言い訳してるのよ。

違うっ!



オークチンポ。
最高よ…♡

あっ♡

そんな事！
嘘！

わたしは…

わたしは…

ズンズン

んっ♡

んんっ♡

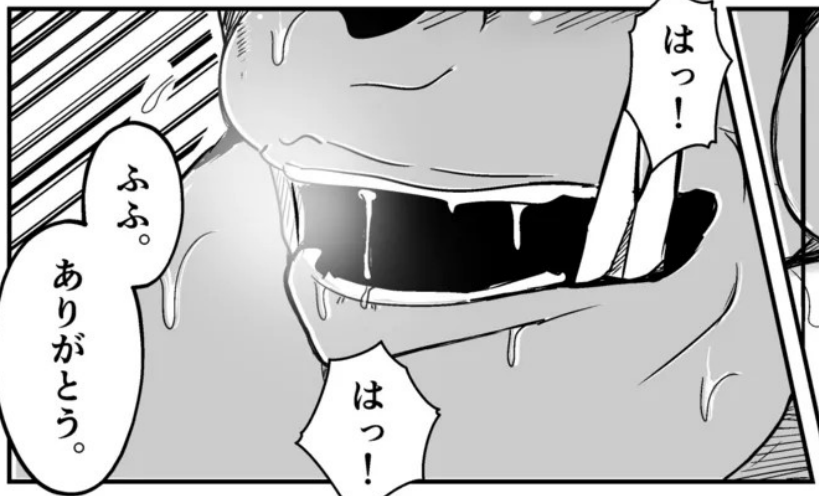
あなたたちは
下劣だけど

このたくましい
チンポだけは
認めて
あげて良くてよ。



光栄に
思いなさい。

おっ♡



ふふ。
ありがとう。

はっ！



どう？
私の膣内は？

気持ち
いいでしょ？



気持ち
いいのね。

これであなたも
私の記憶が
見えるように
なつたでしょう？

あなたたち
オークが
私たちエルフを

どんな目で
見ていたのか。

ぐふふ。

エルフだ…！

エルフの王女と
おでは…
セックスを…

始まったわね。

記憶
だけじゃない。

思考、言動、仕草…

すべてが元の私にく
塗り替えられていく。

ま
ま

でも
安心なさい。

あなたが
あなたであつた
認識は残るから。

ただ、

ま
ま

おでに
そんな難しい事
言われても
わかんないだべ！

セルフの王女様と
セックスしている！

んっ♡

あっ♡

それが
気持ちいいから
続けるだけだべ！

カチカチ

ふふ。
そうね。

こんな事、
最初で最後だものね。

存分に
楽しみなさい。

元の
自分の身体を♡

はっ♡

はっ♡

私も楽しませて
もらうわね♥

とめどなく押し寄せる快感!

そして
心を身体を重ねる程に
積み重なっていく快感の堰!

新しく迎え入れる
女という性を!

ああ。
最高っ♥

んっ♥

ああっ♥

10倍だなんて嘘。

この積み重なっていく
快感に
際限なんてあるの?

私は今、

地位、名誉、美貌

これが女の
絶頂

あぁあぁ

あぁあぁ

そして、快樂♡
全てを…♡

♡♡♡



あなたは
処刑しないでおくれわ。

エルフの王女で
ありながら

一族を汚した
大罪人として

一生を
償いなさい。



そのオークの
身体で

オークとして、ね。



おで、
王女様にキスされ…

あれ？
でも、王女様は
おでのはず？

おではおでなのに
混乱してきたべ。

そっか

おで身体を
入れ替え
られたんだべ。

大罪を犯した
オーク一族の長よ。

ぐっ…！
どういう事だ！

作戦は
失敗したのか？

正義の名のもとに
貴様たち
一族を滅ぼす！

いいえ。
大成功したわよ。

おかげで
私は

欲しいものを
すべて手に入れた。

そして今から

あなたに最後の
孝行を、ね。

ま、待て！

お前！

モリブでは
ないのか？



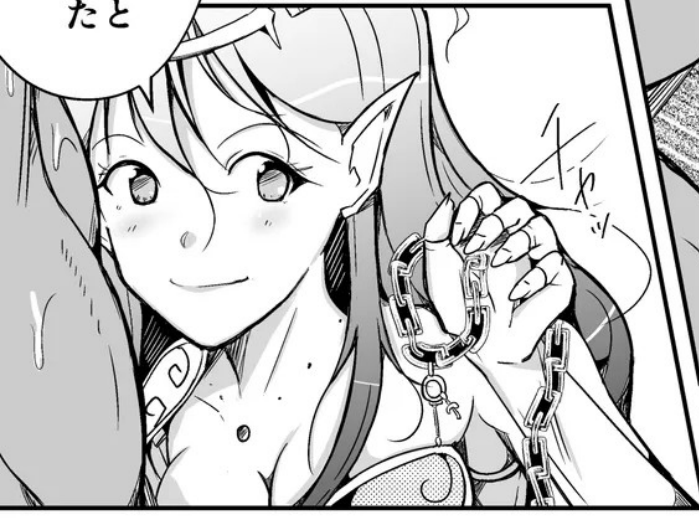
あなた、
エルフの女に

興味があると
言っていました
わよね？



もう、その名で
呼ぶでない！

私は気高き
エルフの女王ラピス！



あなたには
恨みもありますが
感謝しています。

今の地位があるのは
あなたのおかげですから。

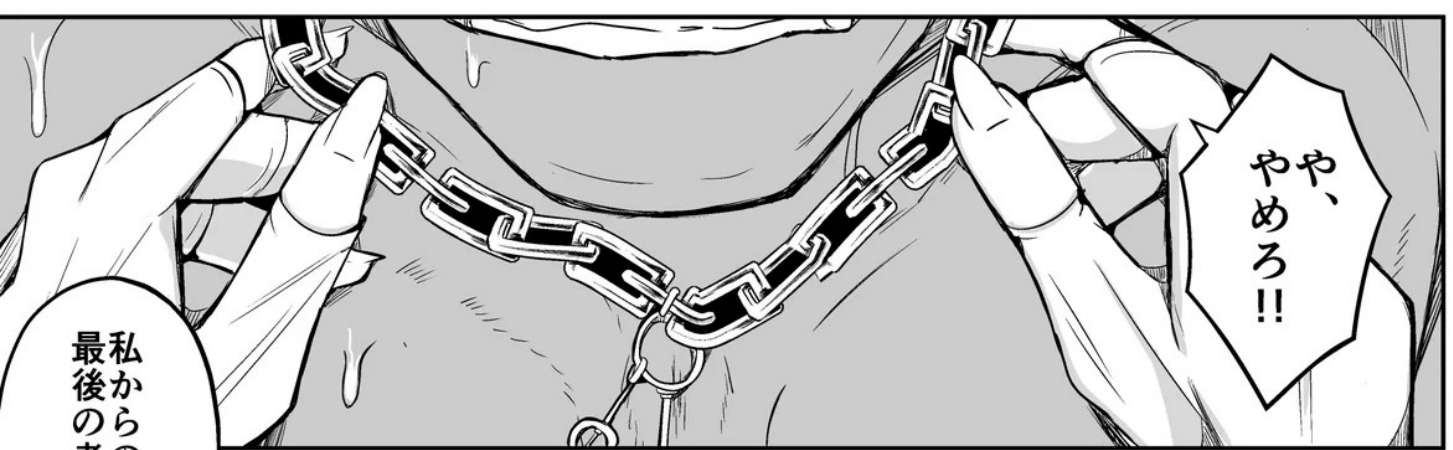
だから
殺しはしません。

…ところで父上。



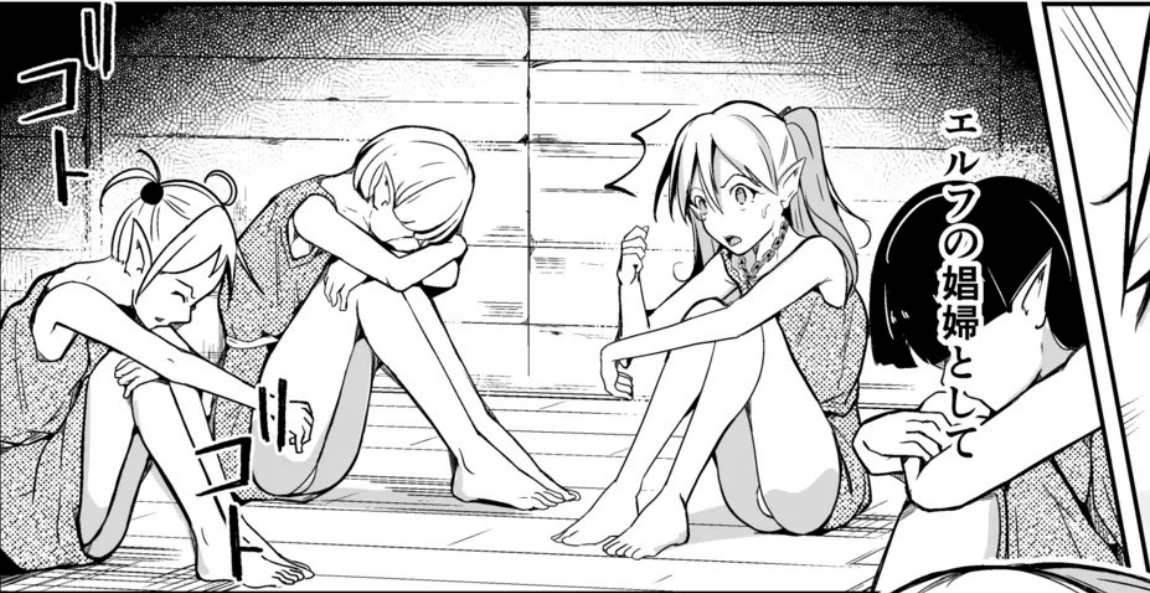
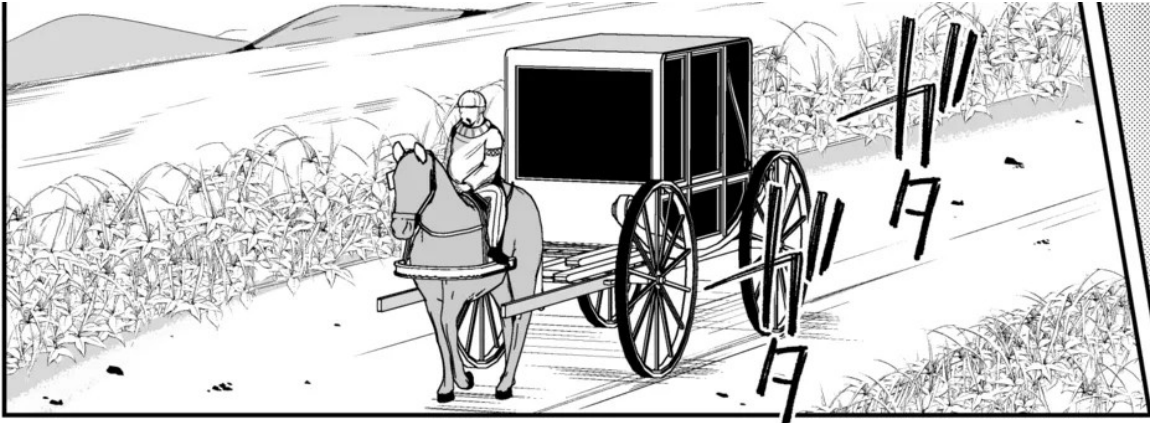
なってみると
良いわ。

ま、まさか！



や、
やめろ！！

私からの
最後の孝行よ。



交姦

～エルフの王女になったオークの物語～

2023/04/08

交姦

～エルフの**王女**になった**オーク**の物語～

著者:いわした

pixiv:14897019

twitter:iwashitan

web:<https://www.iwashitan.com>